

2009年度 予算編成方針

I. 予算編成に当たって

2009年度教育・研究に関する年度計画書には、本学の目指す方向の基本方針として「世界に開かれた大学，Open Minded University」を掲げ、更なる展開として「グローバル・コモン」を目指したいと示されています。

本学はこれを実現するために、制度改革の推進，グランドデザインの策定・推進，研究体制の整備，戦略的国際交流の推進，大学院の充実，教育体制の整備，学生生活支援の充実，戦略的広報の展開，大学の社会貢献等の重要課題に取り組まなければなりません。

とりわけグランドデザインの策定の課題である重点的キャンパス施設整備計画は、今後本学の中・長期計画に基づいて多角的に検討を進めたいと思います。

翻って今世界では、アメリカのサブプライムローン問題から端を発した金融危機は、株価・為替・物価・雇用にまで信用収縮の連鎖が加速し、実体経済にもマイナスの影響をもたらし、今後の景気悪化が懸念されています。

しかしながら、本学の理念に基づいた展開を2009年度以降も予算に反映させるには、リスク回避を図りながらも、潜在的な財務余力の具現化を視野に入れつつ、理事会は以下の諸策を慎重に進める必要があります。

II. 予算編成上の主な内容

1. 制度改革等の推進

- (1) 制度改革の推進
- (2) グランドデザインの策定・推進
- (3) 研究体制の整備
- (4) 戦略的国際交流の推進
- (5) 大学院の充実
- (6) 教育体制の整備
- (7) 学生生活支援の充実
- (8) 戦略的広報の展開
- (9) 大学の社会貢献

2. 人事計画

- (1) 専任教員（客員教員含む。）任用計画に基づく採用
- (2) 職員人事制度の再構築
- (3) 給与等の待遇

3. 財務計画

(1) 帰属収入

2009年度は、学費以外の受託研究費、指定寄付研究費等の外部資金の受け入れ強化、前年度に取得した文部科学省のグローバルCOE等の競争的補助金の継続的な獲得及び受け入れ強化、資産運用及び施設の外部貸し出し等の多様な増収策による財源確保を目指し、帰属収入の安定的な確保を目指します。

(2) 募金計画

教育振興協力資金については、従来からの校友・父母の他に企業等にも戦略的な募金支援活動を行いたいと思います。その他は、過去の実績に基づいて計上します。

(3) 借入金計画

日本私立学校振興・共済事業団からの融資を、文部科学省による利子助成制度を利用して受け、グランドデザインの策定に基づく施設の整備事業を推進します。

(4) 消費支出

消費支出については、引き続き効率的な財政運営を行い、長期的な収支均衡を図ります。

- ① 経常的な経費については、2008年度予算額を基準とします。
- ② 政策経費については、重要性・緊急性を考慮して予算措置を図ります。

(5) 基本金組入計画

① 第1号基本金

2009年度に支出する土地、建物、構築物、機器備品、図書等の固定資産は取得後に組み入れます。組入対象資産の主なものは、駿河台C地区整備計画、和泉新図書館、生田第二校舎D館、中野キャンパス計画等です。

② 第2号基本金

新規に駿河台C地区整備計画、中野キャンパス計画、継続で和泉新図書館、生田第二校舎D館、農学部黒川農場の建設資金を第2号基本金として設定します。

③ 第3号基本金

創立者記念奨学基金は積み立てます。

④ 第4号基本金

学校法人会計基準に基づき所定額を積み立てます。

以上